

2011年
クイーン倶楽部だより 10月号
第106号

ERIN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



新米

今年も豊かに稔りました！
新米をお届けします！

今年は色々な災害に見舞われた一年間でした。
3月の東日本大震災、原発事故、水害、そして猛暑…。震災の影響による春の種まき時期の燃料不足、肥料などの資材の高騰など振り返れば「よく育ってくれた！」と感心するほど豊かに稔ってくれました。
そして、皆様に私たちが丹精込めたお米をお届けできる喜びを噛みしめています。

生産者代表 阿部 信行

22年産につきまして、災害の影響によるお米の不足で皆様にご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

放射性物質検査について

皆様に安心して23年産米を召しあがっていただくために、①新潟県が行う「玄米の放射性物質検査計画」により公開されたデータ、②Radix（自然との共存共栄を目指す生産者の団体）の行う検査、③当社が独自に検査機関に依頼する検査の3重の安全確認をしたのち、皆様へお届けいたします。
詳しくはホームページや紙面、お米に同封している別紙をご覧ください。

新潟県内すべての地域において放射性物質は不検出で安全が確認されております

ドクター
中村の
健康徒然記
その8

前向きな姿勢と行動



中村 信也(なかもらのぶや)
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医療薬膳研究の第一人者」として活躍中。

大学での後期授業が始まり、学園に嬌声が飛び交い、活気付いてきました。最初の授業は「公衆衛生学II」のスタートでやはり緊張します。前期からの継続で「精神保健」を講義しました。精神保健の中で精神について説明することは容易ではありません。特に健全な精神作用とそうでない統合失調症などの病気を理解させることは至難の技です。

精神作用とは、日常生活のなかで外的刺激を受け、知覚し、認識し、情感し、判断し、決意し、行動を起こさせることです。健全な精神作用は外的刺激に明快に反応することでしょう。反対に病気の場合は外的刺激にはつきりしない行動をとるようになります。

精神の代表的病気である「精神作用統合失調症」は「知覚から行動に至る一連の精神作用で統一性の欠如」といえます。解り易くいえば、統合失調症は外的刺激とその行動を常人が理解できないものです。統合失調症患者が通行人を殴った場合、本人は誰かの声が殴れと聞こえ(幻聴)、それを実行したと一貫性ある説明をしますが、健康者には理解できませんので病気となります(犯罪になるかは精神鑑定が必要で)。似たような病気に「認知症」がありますが、「これはよくある」という認識が記憶喪失のためにできず、行動できないという病気です。

これから精神作用には二段階があるといえます。第一段階は知覚されたものを認識し、それに対し嫌だ、嬉しいなどの情感が生じます。次に第二段階として「知覚されたもの」を判断し、決意をせねばなりません。第一段階の認識と情感を「感知作用」、第二段階の判断・決意を「意志作用」といえます。この後運動神経に命令して行動が生じます。例と示しますと、向こうから人が歩いてくると、知覚し、誰であるか認識し、嫌な人と情感します。次いで「どうしよう」と判断に迫られ、「無視しよう」と決意し、意思を示します。その一連の作用が行動として表れるわけです。

健康とは、刺激に対し他人に好ましい行動にでることといえます。反対に、刺激に対し逃避行動を繰り返していることやがては病気とみなされます。

本日の授業は学生に前向きな感知をし、前向きな行動にでることが健康であると教えた次第です。